



タウン ウオッチング

樹木葬とは、墓石ではなく墓碑として樹木を指定した葬法のこと。環境を守るため、墓地に墓石など人工物をおかず自然の中に、骨を入れ土に返すというもの。

お彼岸である。連休を利用して墓参りを予定しているサラリーマンも多いだろう。墓といえば、墓石が一般的だが、昨今、樹木葬を考へる人、実際に言う人が増えている。首都圏で先行しているが、先ごろ京都五山・東福寺に本格的な2つの樹木葬地が完成。関西にも本格的な「樹木葬」時代がやってきた。

関西にも本格的な「樹木葬」時代が到来か

あ の 京 都 ・ 東 福 寺 に 樹 木 葬 地 が 完 成

することが義務づけられている。

「樹木葬の会事務局」の山崎譲二さんは、「樹木葬人気の背景には、お墓の継承者問題や子供に迷惑をかけたくないという親の意識があります」と言う。さらに「従来のお墓り、うち荘厳院と即宗と比べ安い費用で済みます。それに、暗いお墓や納骨堂を嫌い、自第1号の納骨が行われ分らしい葬送を求めるた。

ちなみに、荘厳院の

樹木葬は、樹木葬のシンボル樹木として春の

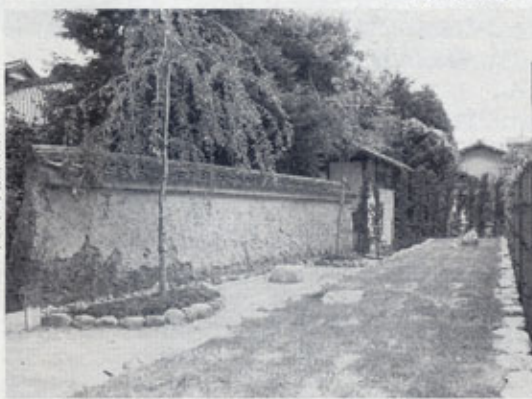
桜、秋のモミジを植えた禅

自然回帰志向の寺の箱庭的な作り。即ちや明るいお墓宗院の樹木葬は、森に求める人に囲まれた小クマザサの好評です。樹木葬地がダイナミックで木葬のうち生野趣に富む自然葬地で前購入者が6ある。

7割と多い。いまや樹木葬は変わってもそのためった珍しい葬送ではないです」とも。

東福寺の場合は、少子化、核家族、合、その費用として不況が続く時代は1人用1区の流れなのかもしれない。画50万円、2人用70万円。

●樹木葬の会事務局
一般的な墓の ☎075・3255・15分の1から515



荘厳院樹木葬